

#24(2024年度第1回) CN専門委員会

2024.6.17
車工会 事務局

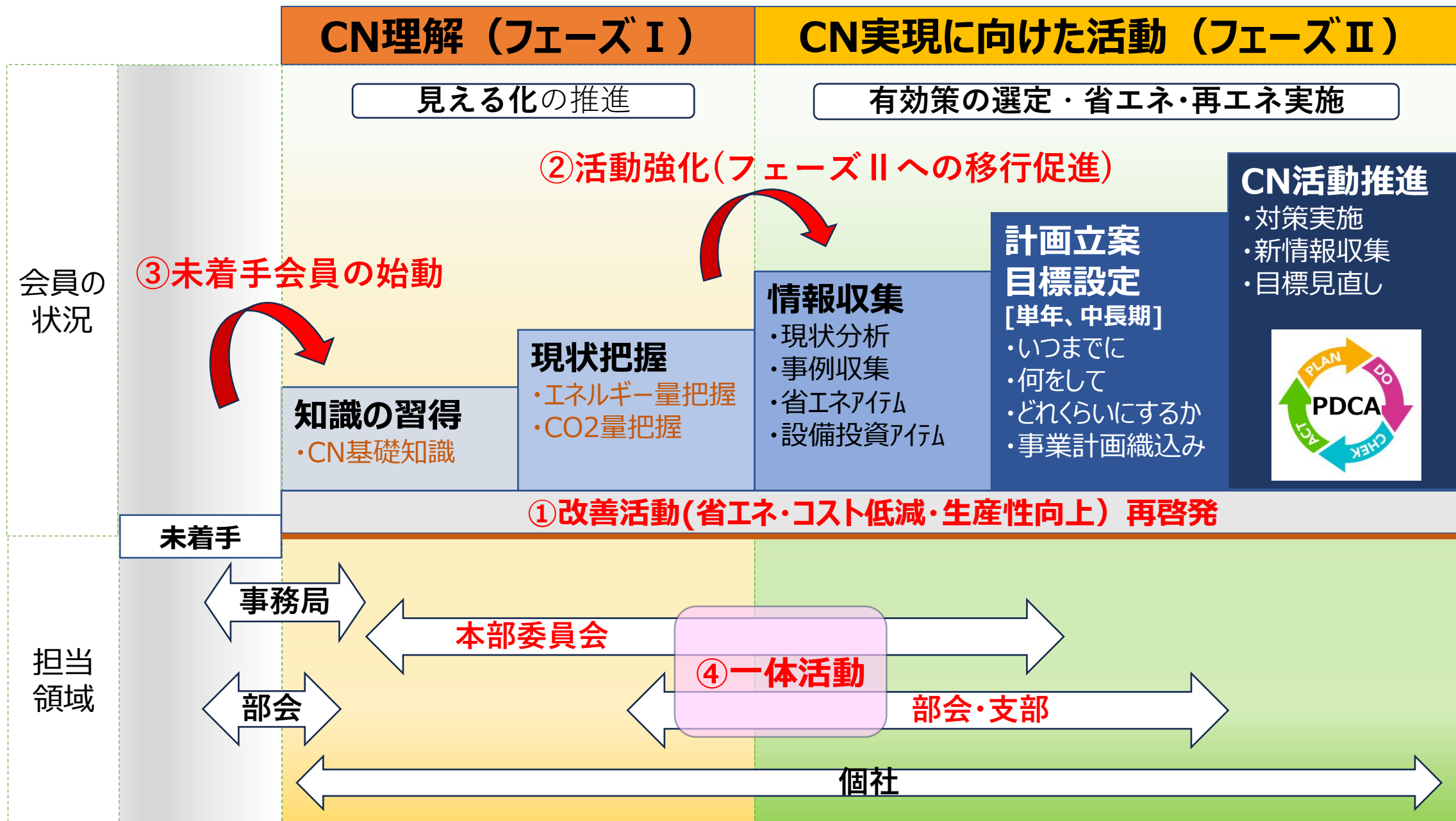
<第24回(2024年度第1回)CN専門委員会 次第> 6月17日(月)13:00~14:10 2/24

1.2024年度CN 活動計画	説明 (含:23年度アンケート結果)	25分	20分	13:05-13:25
	質疑		5分	13:25-13:30
2.本部委員会	広報委員会	10分	10分	13:30-13:40
3.部会	部会全般	22分	2分	13:40-13:42
	特装		5分	13:42-13:47
	バン		5分	13:47-13:52
	トレーラ		5分	13:52-13:57
	部会長コメント		5分	13:57-14:02
4.支部		3分		14:02-14:05
5.まとめ		5分		14:05-14:10

1.2024年度CN活動計画

<2024年度CN活動 取組み重点：2023年12月CN専門委結果>

- ・ 2050年の全会員CN実現に向け、**裾野拡大と活動強化**を図る
 - ①**改善活動**（省エネ・コスト低減・生産性向上等）**再啓発**
 - ②CN実現に向けた**活動強化**（フェーズⅡへの移行促進）
 - ③**未着手会員の始動**
 - ④本部委員会と部会(特装・特種・トラック・バン)・支部との**一体活動**
 - ⑤LCAは、先行会員参加によるWGの推進等進め方を検討



2023年度

CNアンケート調査まとめ

—最終版—

1. 回答状況 (展開2023/10/12→期限11/10(40%未済)→2024/4/24(2/13

① 回答率 (全体)

2023	依頼	回答	回答率	対前回
全会員	318 社	223 社	70%	↓
正会員	212 社	135 社	64%	↓
準会員	106 社	88 社	83%	↓

参考) 前回 (2022年度)

2022	依頼	回答	回答率
全会員^{※1}	310 社	256 社	83%
正会員	207 社	155 社	75%
準会員	103 社	101 社	98%

② 回答率 (部会別^{※2})

2023	依頼	回答	回答率	対前回
特装部会	40 社	21 社	53%	↓
特種部会	56 社	39 社	70%	↓
トラック部会	76 社	44 社	58%	↓
バン部会	23 社	16 社	70%	↓
トレーラ部会	7 社	7 社	100%	→
バス部会	2 社	2 社	100%	→
小型部会	5 社	5 社	100%	→
資材部会	106 社	88 社	83%	↓
無所属	3 社	1 社	33%	↓

参考) 前回 (2022年度)

2022	依頼	回答	回答率
特装部会	42 社	31 社	74%
特種部会	54 社	44 社	81%
トラック部会	75 社	49 社	65%
バン部会	24 社	19 社	79%
トレーラ部会	4 社	4 社	100%
バス部会	2 社	2 社	100%
小型部会	5 社	5 社	100%
資材部会	103 社	101 社	98%
無所属	1 社	1 社	100%

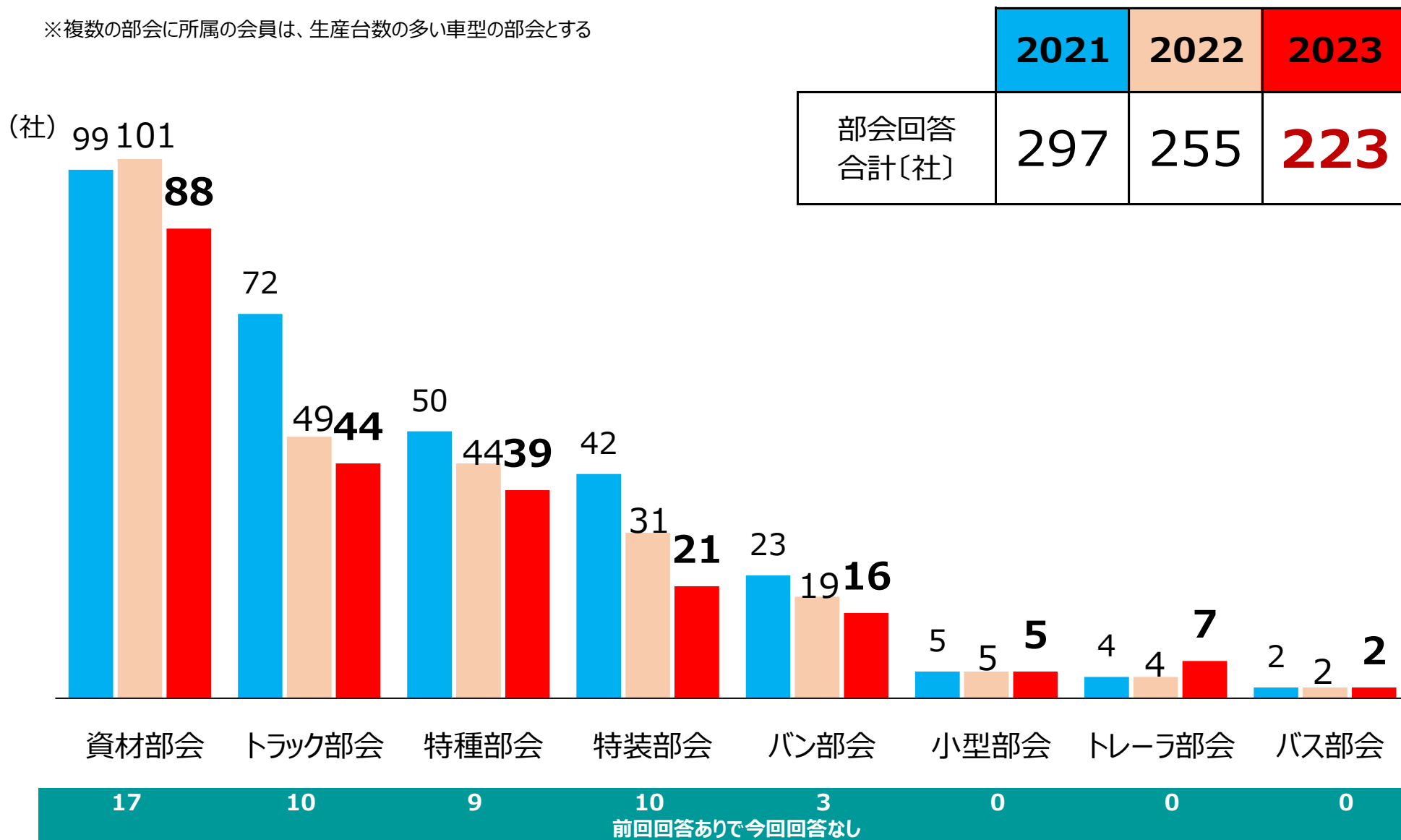
※1: 他団体に主所属、回答辞退の会員7社を除く

※2: 複数の部会に所属の会員は、生産台数の多い車種の部会とする

前回回答ありで今回なし: **49社**

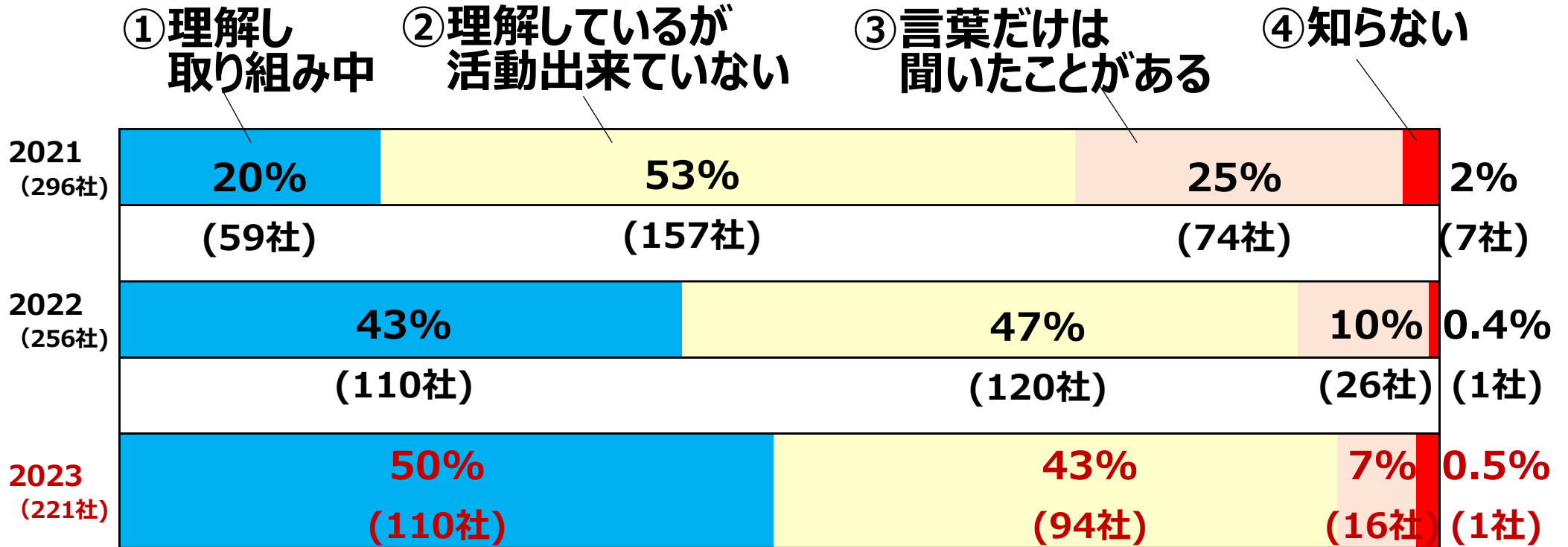
③ 年度比較（部会別）

※複数の部会に所属の会員は、生産台数の多い車型の部会とする



1) CN理解度

[カーボンニュートラル(CN)を知ってますか?]

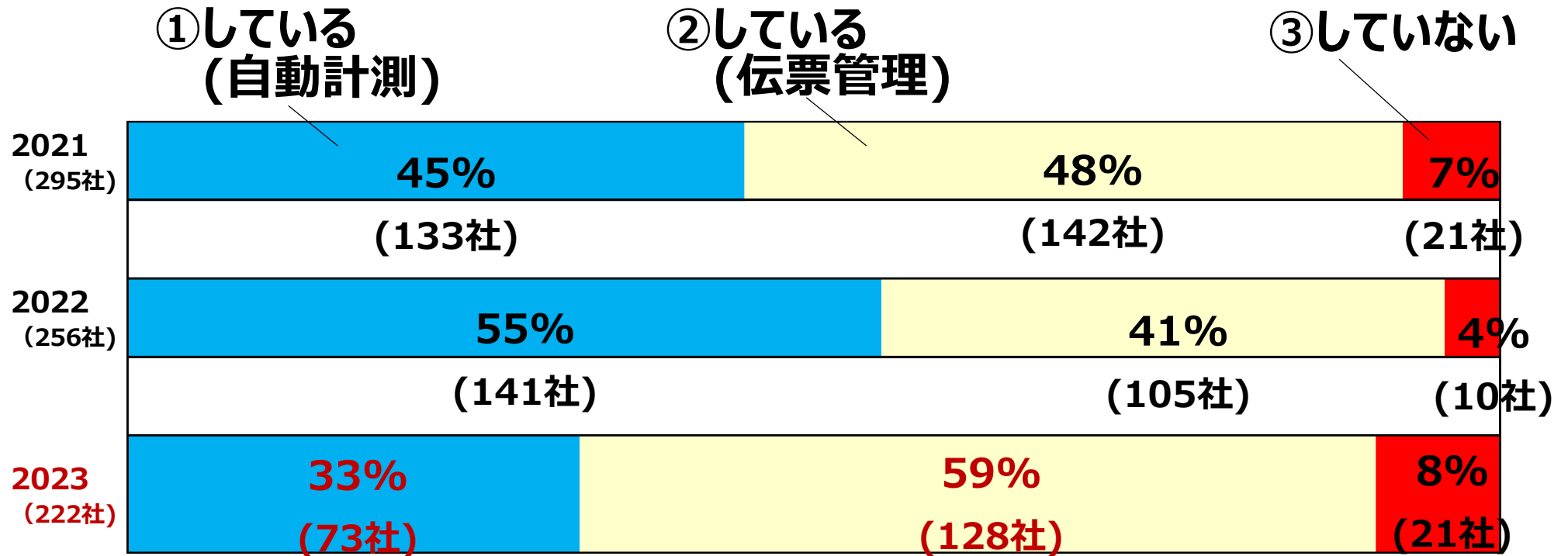


無回答:2社

理解度は向上(③→②:9社)、未着手会員②~④対応が課題

2) エネルギー使用量把握

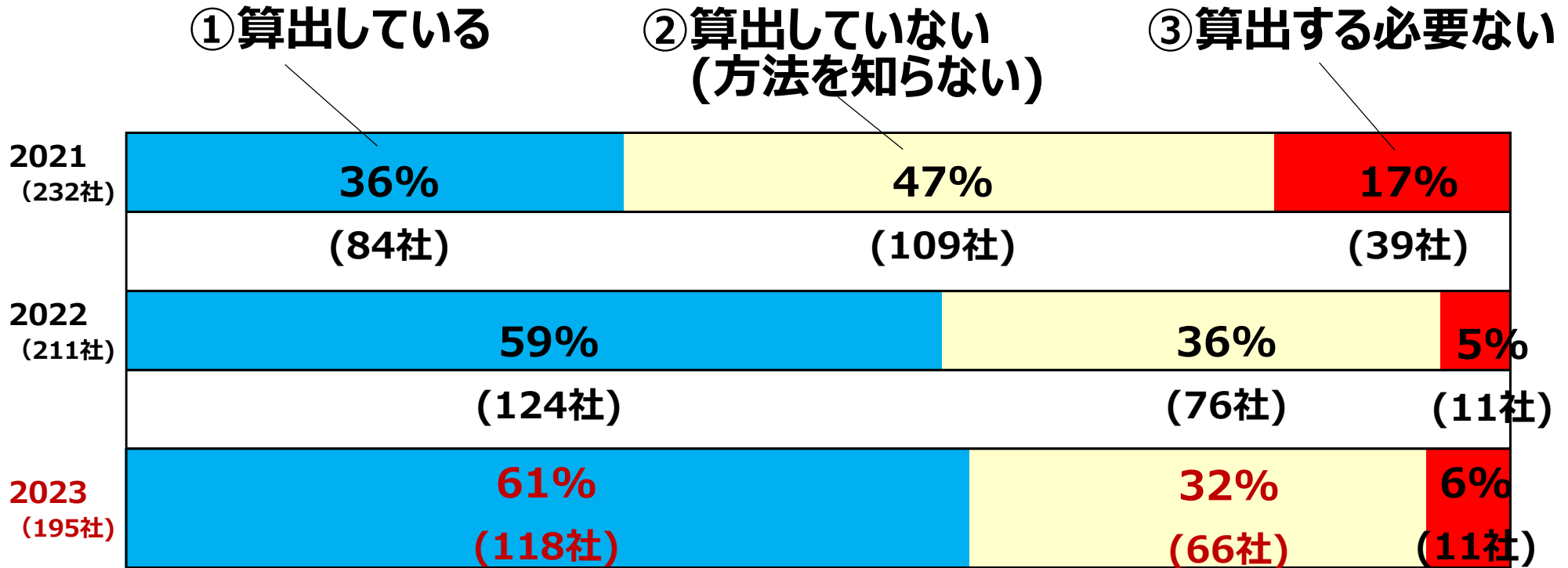
[事業活動で使用するエネルギー使用量を把握、記録していますか?]



未着手会員③への対応が課題

3) CO₂排出量把握

[CO₂排出量を算出していますか？]
 ※エネルギー使用量を把握している会員の回答

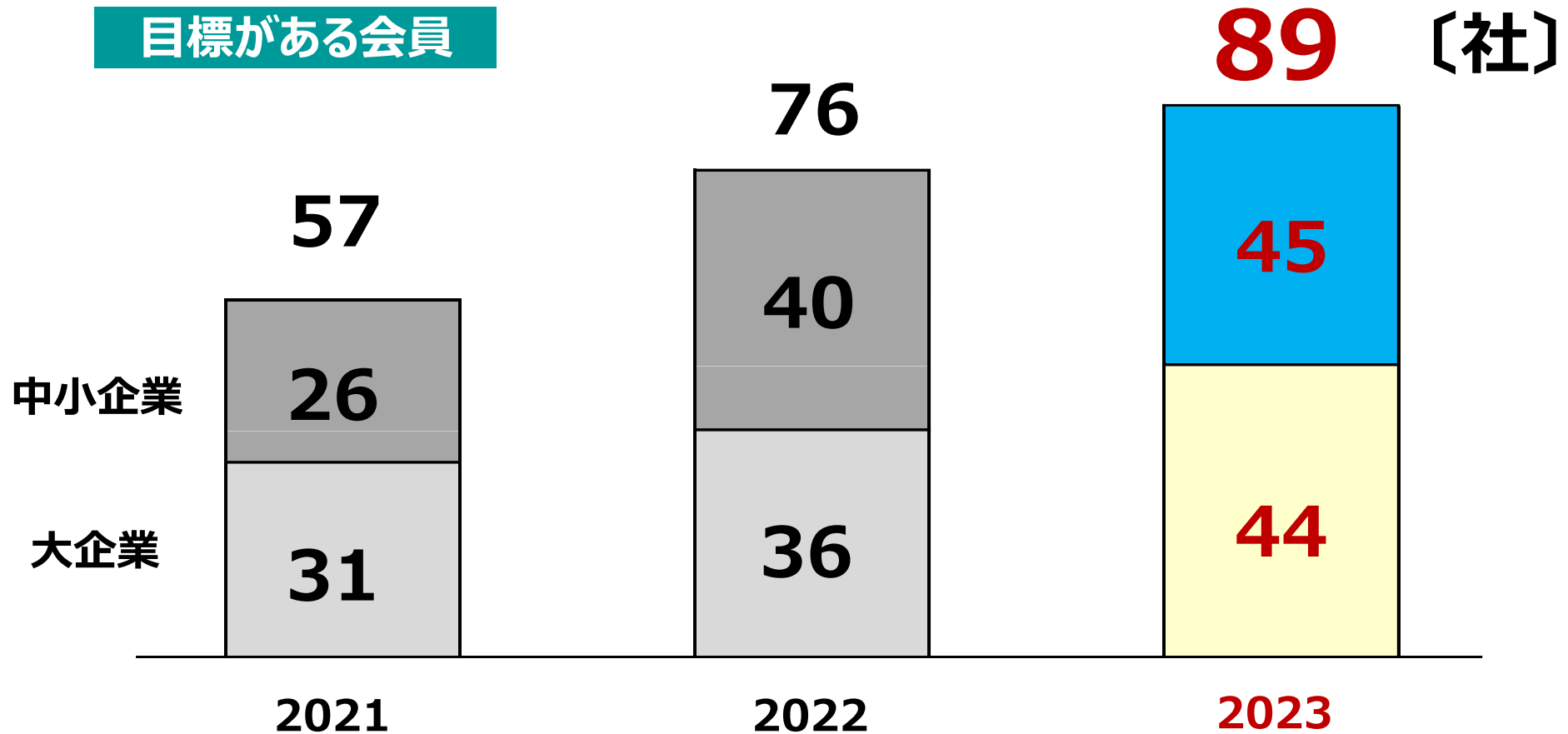


把握会員は微増(③→①:2社)、未着手会員②③対応が課題

4) CO2低減目標

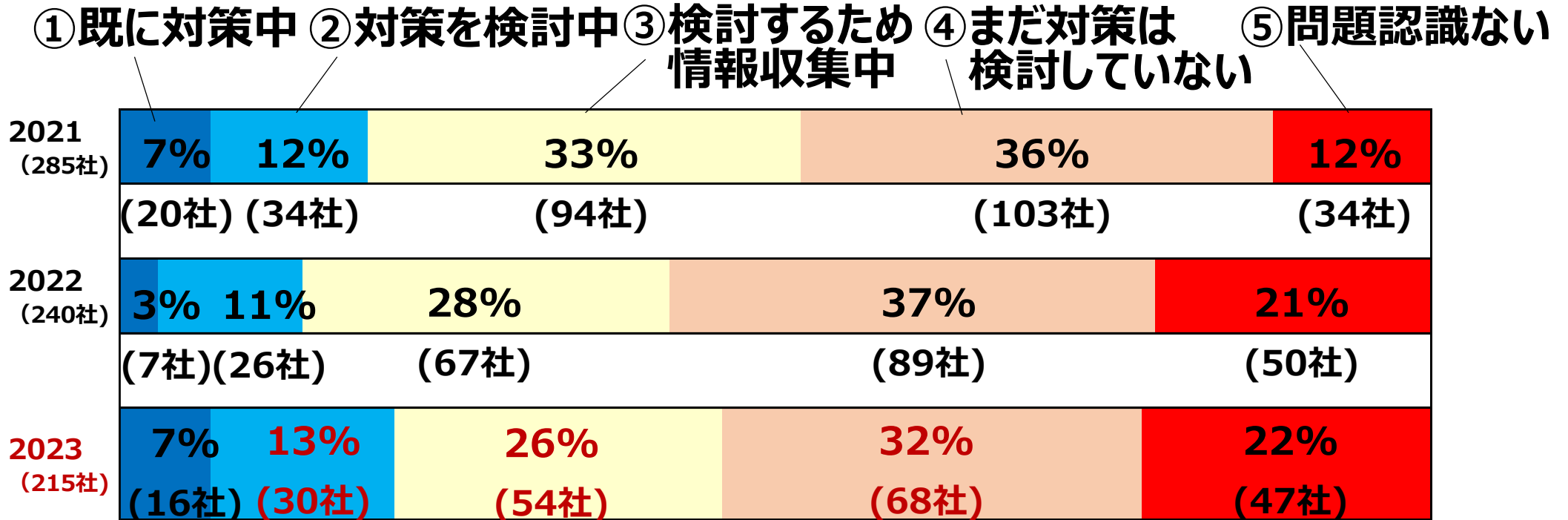
[CO2低減目標はありますか？あれば目標を教えてください]

目標がある会員



大及び中小会員共に増加、過半数以上の未着手会員の対応要

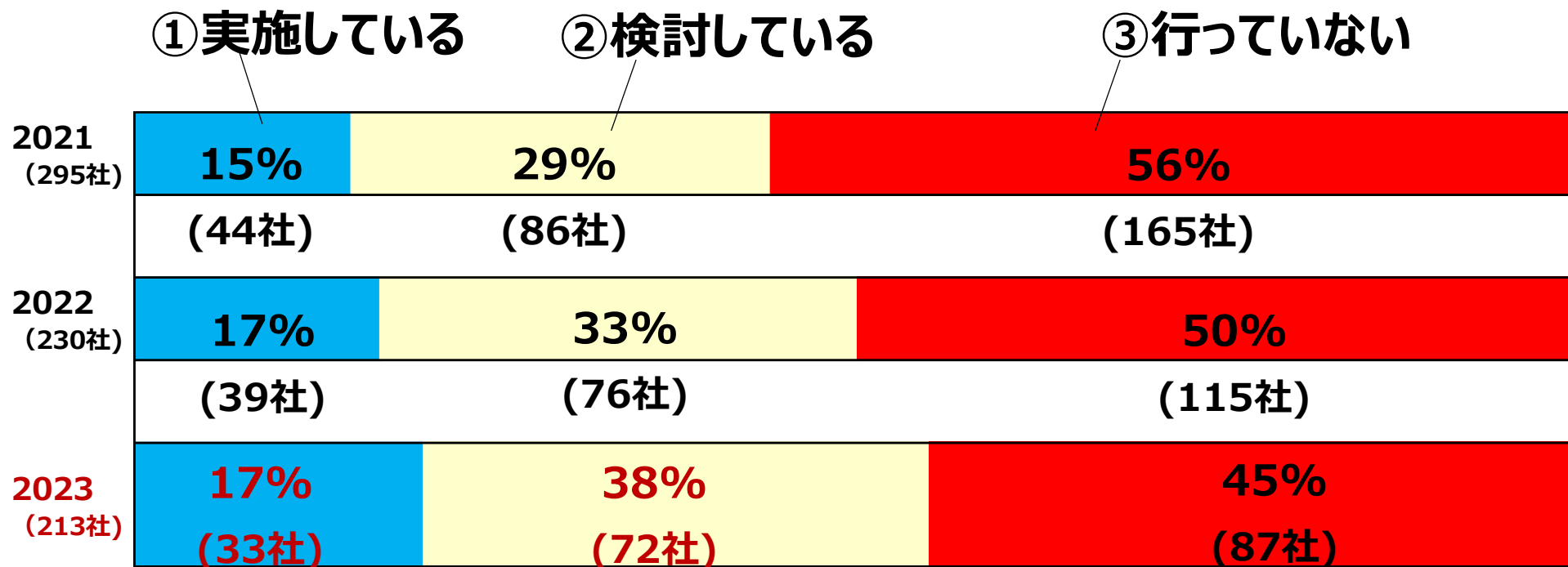
5) シャシ電動化への対応 〔シャシ電動化に伴う架装の問題について対策されていますか？〕



二極化のため、①の好事例を共有し対策拡大につなげていく

6) CN対応製品の設計

[製品等の開発段階からCNを意識した設計等を行ってますか?]



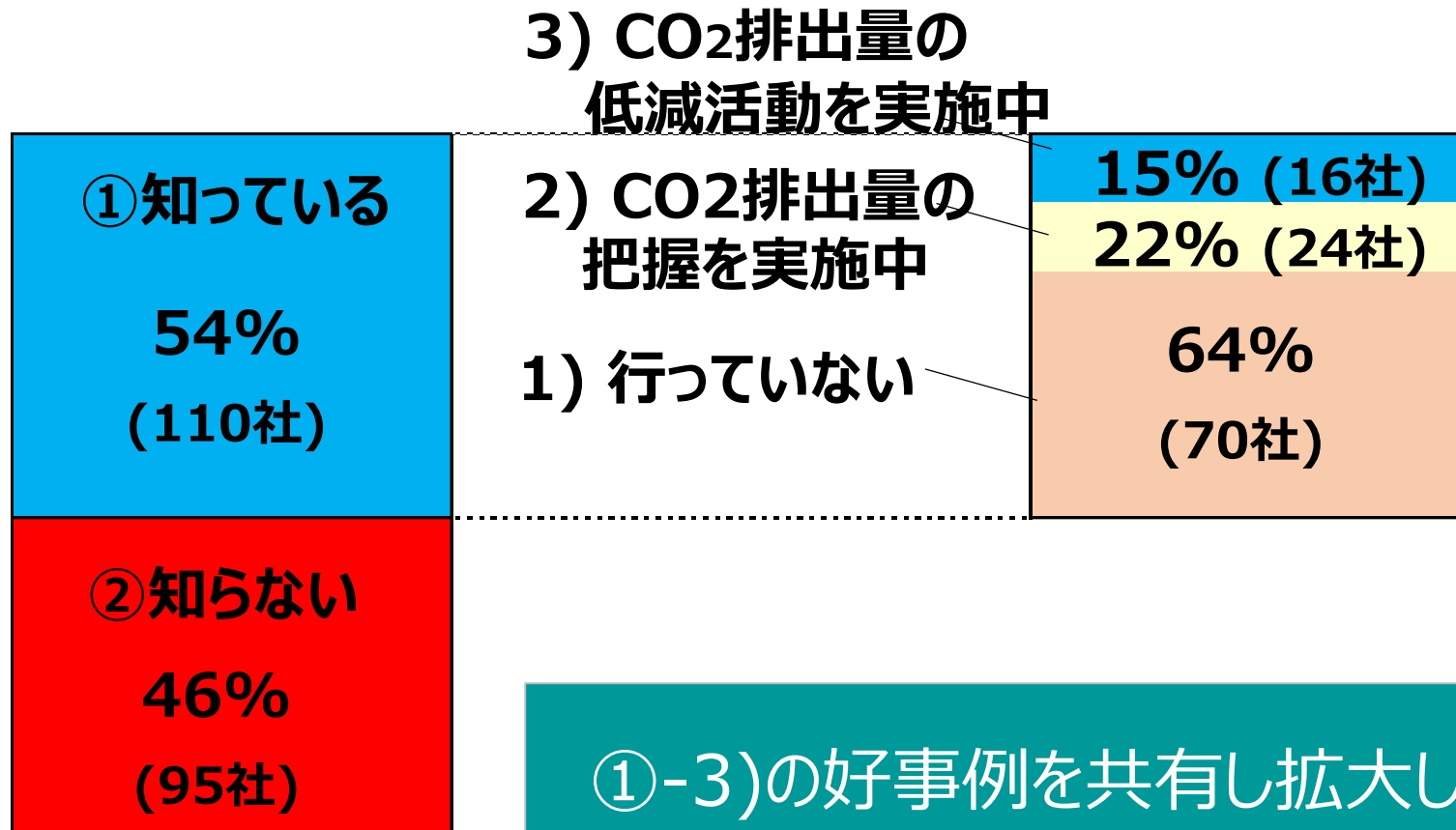
二極化のため、①の好事例を共有し実施拡大につなげていく

7) Scopeの区分と活動

[Scopeの区分を知っていますか？ Scope3の活動を行っていますか？]

Scopeの区分

Scope3の活動



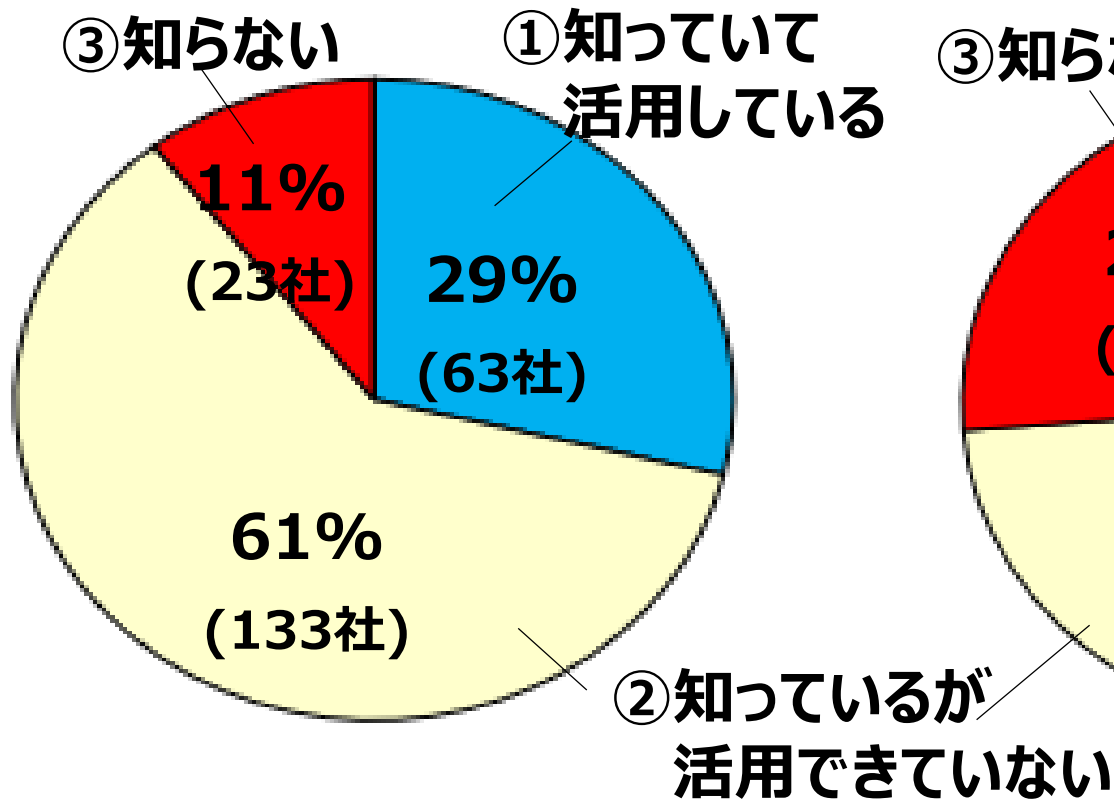
①-3)の好事例を共有し拡大していく

8) 車工会のCN活動

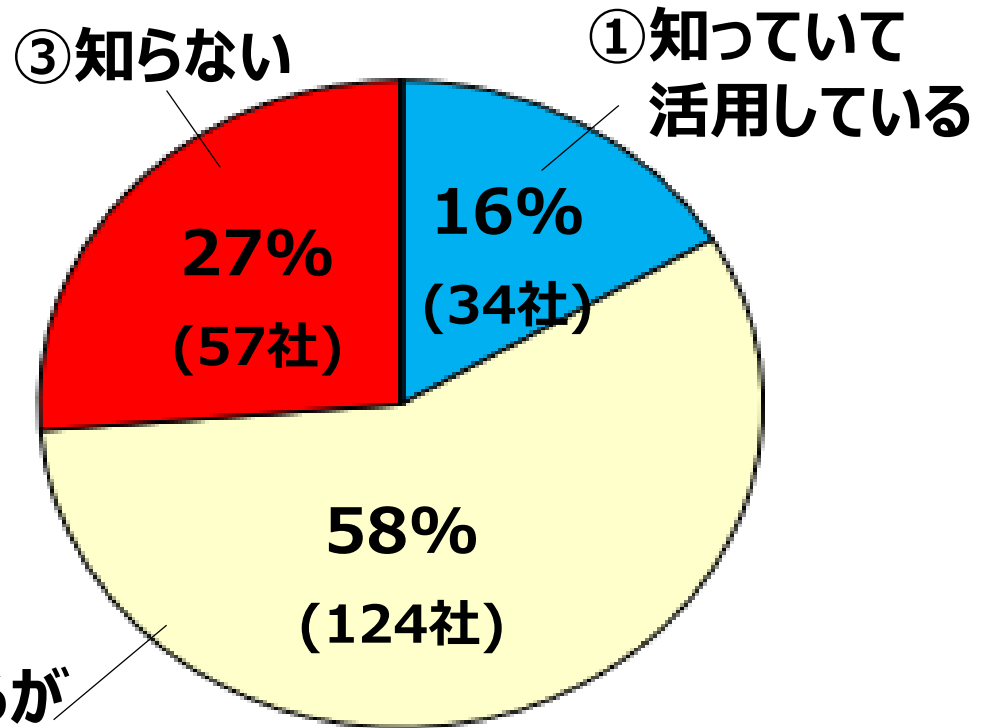
(1) [勉強会初級編のHPによる動画公開や実践編の勉強会を知っていますか？]

(2) [カーボンニュートラル専用HPでの情報発信を知っていますか？]

(1) 勉強会



(2) CN専用HP



勉強会の方がHPより活用率も高く、逆に知らない率は低い

9) 困り事や課題

		○付け 会員数	回答223社 に対する比率
CNを推進する上での 困り事や課題 はありますか？ 右欄から該当するものを選択して ください（いくつでも可） これ以外の困り事があればフリーコ メント欄に記入願います。	CNに限らず人材不足	130	58%
	担当者を専任とすることが難しい	102	46%
	CN対応をしても価格転嫁が困難	74	33%
	社内にCN意識が浸透しない	65	29%
	設備投資費用の資金不足	60	27%
	具体的な活動方法がわからない	54	24%
	Scope3データや分析の情報入手困難	53	24%
	省エネ、設備導入、教育訓練に関する補助金、 助成金、税制優遇情報の入手困難	29	13%

前回に引き続き、人材問題が上位を占める

10) 車工会への意見・要望

A) 車工会対応中だが会員の認知度が低いもの → 車工会HP認知度upへ

- 1) 勉強会：中小企業が取組みやすいセミナーをしてほしい
- 2) 他社事例：中小企業で取組める事例を共有してほしい
- 3) 費用関連：補助金情報をタイムリーに提供してほしい

・現HPの再PR：5/27済
・広報委員会 新L/O検討中

B) 車工会対応検討要なもの → 2024年度活動

- 1) 他団体関連：自工会/部工会との足並み揃えた活動にしてほしい（帳票、等）
 - 2) 海外関連：日本よりも取り組みが進んでいるEU企業の事例を知りたい
 - 3) 技術関連：再エネ率向上につながる新技術に関する情報を展開してほしい
 - 4) CN対応策導入関連：太陽光発電導入したが休日余剰電力の活用方法検討中
 - 5) Scope3関連：具体的な活動のやり方やデータ集計方法など教えてほしい
- ※ 社内のCN活動への士気や雰囲気をも高めることに苦労されている会員も多数

11) 今後の活動

- ・未着手会員対応及び活動強化、個別対応(本当の困り事確認)

困り事や課題 (フリーコメント)

※「特になし/特にありません」系は除く

区分：①人材問題 ②資金問題 ③情報不足 ④経営問題 ⑤Scope3 ⑥その他

参-1/6

No	会員区分	会員名	規模	区分	内容	対応
1	正会員	(株)犬塚製作所	中小	④	社内での方針を検討中の為、具体的な活動方法が明確になっていない。	D
2	正会員	岐阜車体工業(株)	大	⑥	太陽光発電開始後の休日余剰をどうまく使うか。昔と違い中電も買ってはくれないのでどう活用するか親が親会社へも聞きながら対策検討中。	E
3	正会員	極東開発工業(株)	大	④	近年気候変動が実感できるようになったにもかかわらず、まだまだ国内では他人事で、社内の雰囲気も同様です。社内はまだまだ業績優先で、まずは費用対効果を求められます。同業他社の積極的な動き (CDPなどの外部評価を含めて) を確認できない限り、当該部門が旗振りしても、社内気運が上がらないのが現状かと感じております。	E
4	正会員	(株)サトウ	中小	⑥	現状でCN活動を費用、人材を割いてまで推進するメリットが感じられない。	B
5	正会員	昭和飛行機工業(株)	大	⑤	Scope3において、省エネ法や都条例の指定事業所未満の小規模部品メーカーに、エネルギー使用量の算出を求めめるには無理がある。	F
6	正会員	新明和工業(株)	大	⑤	Scope3把握について協力企業 (部品製作等の調達先企業) とどう足並みをそろえるかが課題	F
7	正会員	(株)トイファクトリーインターナショナル	中小	④	各部署の意識をより向上させることが重要。	D
8	正会員	(株)東海特装車	中小	⑤	特にScope3 CN材料の購入や選定等仕入先や物流へのCN要請 等ができていない。	F
9	正会員	東プレ(株)	大	④	顧客、行政からの要求に伴い、会社全体の取り組みに成ってきています。『費用対効果』が課題と思われま。エネルギー使用量を収集し大まかな削減対象の把握はできたが、生産活動を継続しつつCN目標の達成に向け大きく前進するようなアイデアが不足している。	D
10	正会員	東邦車輛(株)	中小	③⑥	水素燃料の乾燥炉が実際導入可能か、どのように運用されているか、コストが高くなるかの情報入手出来ていない。または、LPG燃料の乾燥炉からC Nにつながる設備、LPG係数0に向けた情報が入手出来ていない。CO2削減目標に対し現状の計画量では不足分を再エネ由来の電力購入にて補う以外に方法がないができるだけ避けたい。	E
11	正会員	(株)東洋ボデー	中小	⑤	具体的なSCOPE3データ入手方法や台辺り集計方法が知りたい(特に輸入資材、市販品)	F
12	正会員	(株)トーワ・自工	中小	⑥	選択方法がわかりません、	C1
13	正会員	(株)トノックス	中小	②	近年、エネルギー高騰で省エネ設備投資も保留せざるを得ない状況	D
14	正会員	トヨタ自動車東日本(株)	大	②⑥	設備投資費用の高騰、部品の長納期化による低減計画の停滞リスクが懸念される	D
15	正会員	トヨタ車体(株)	大	③⑥	革新的な省エネ技術開発と導入判断、RE供給量に対する需要確保、 将来的なCN技術(H2,CCUS等)の情報収集	D
16	正会員	(株)トランテックス	大	①③	シャシの変更内容・時期の情報が少ないため、工数投入の必要性を訴える材料が足りないため工数確保が難しい	E
17	正会員	日本トレックス(株)	大	③	補助金などの情報をタイムリーに入手できる様、発信して欲しい	A
18	準会員	アキレス(株)	大	③	当社が使用する原材料のCO2排出量が原材料メーカーからの情報がもらえない	F
19	準会員	市岡(株)	中小	③	2010年との比較ができない (当時のデータがない)	C2
20	準会員	(株)イノアックコーポレーション	大	⑥	業界、OEMメーカーさんより、発注要件に (コストと同列で) CO2 排出量を掲げる方針は出ないでしょうか？	E

21	準会員	オールセーフ(株)	中小	③	仕入先や物流等へのCN要請活動はどのようにすればよいか分からない。	F
22	準会員	澤藤電機(株)	大	①②	人材不足、投資資金不足	E
23	準会員	(株)サンゲツ	大	①	CNに向けた具体的実行を行える人材に乏しく、なかなか実績を出すまでに至っていない	E
24	準会員	三和シャッター工業(株)	大	⑥	社有車をエコカーに切替えようとしても希望車両の納期が明確ではない。建物の構造の関係で太陽光パネルが設置できない場合がある。	D
25	準会員	スウェーデンスチール(株)	中小	④	スウェーデン本社から営業拠点への支持待ち状態です。	D
26	準会員	セーレン(株)	大	②	CN対応分の価格転嫁が困難	E
27	準会員	(株)デサン	中小	③	アンケートの回答遅くなり申し訳ございません。CN具体的活動事例の情報が確認出来ればと思います。スタート～ゴール、目的と目標。どの様な活動が一番の有効性が有るか。	A
28	準会員	(株)東洋クオリティワン	大	④	C N活動と省エネ活動をうまくリンクしたいが 現場へ浸透しない。	D
29	準会員	日本特殊塗料(株)	大	⑥	上記の内容については、全て当社の困り事・課題です。	E
30	準会員	日本ペイント・オートモーティブコーティングス(株)	大	③	情報不足により、顧客先での商品使用時のCO2排出量計算が出来ず効果確認が出来ず困っている (情報開示の課題)	C3
31	準会員	日本ボデーパーツ工業(株)	中小	⑥	照明のLED化実施済み、フォークリフトの電動化実施済み	D
32	準会員	ヨースト・ジャパン(株)	中小	④	グループ全体の取り組みであり、日本だけでの取り組みが無いため詳細情報の提供ができない。 日本はオフィスのみのため、基本的なCNに関しての取り組みはほぼありません。 グループ全体での活動ですが、詳細はあまり把握できておりません。	B

参考2)

車工会へのご意見・要望（フリーコメント）

※「特になし/特にありません」系は除く

区分：①人材問題 ②資金問題 ③情報不足 ④経営問題 ⑤Scope3 ⑥その他

参-1/6

No	会員区分	会員名	規模	区分	内容	対応
1	正会員	(株)アイチコーポレーション	大	③	シャシメーカー及び架装メーカーにおける動向情報の集約と開示を期待します。	C4
2	正会員	アルサイド工業(株)	中小	③	EV車架装に関する技術面の情報や補助金・助成金の情報が知りたい。	A
3	正会員	イワフジ工業(株)	中小	③	シャシ電動化の具体的な情報提供	C5
4	正会員	(株)加藤製作所	大	③	日本企業だけでなく、CNがより進んでいるEUなどの企業の取り組み事例を知りたい。	E
5	正会員	岐阜車体工業(株)	大	③	再エネ率を上げる為屋根構造計算からつけられる屋根には全て設置。今後も更に再エネ率を上げるとパネル軽量化などの新技術が必要。新技術についても情報展開頂くとありがたいです。	E
6	正会員	小平産業(株)	中小	⑥	今後も、初級編勉強会や実践編勉強会など引き続きお願いいたします。	D
7	正会員	(株)サトウ	中小	①②	弊社の規模（車体架装部門で社員13名ほど）では、利益に直接つながる可能性の少ない活動に現状の人材難、厳しい経済情勢のなかで人材、お金を掛けられないのが現状です。	B
8	正会員	ジェイ・バス(株)	大	③	先進企業の情報展開(進め方や手法)	C6
9	正会員	昭和飛行機工業(株)	大	⑤	Scope3のデータ集計ツールの無料提供を希望します。	F
10	正会員	新明和工業(株)	大	⑤⑥	弊社以外にも小規模・零細企業を取引先にもつメンバー企業が多いと思います。また下流におけるシャシと架装物の負担区分の考え方も不透明です。車体工業会として、身の丈に合ったLCA（特にScope3の把握）への取組方針を明確にする必要があると思われます。	E
11	正会員	(株)トイファクトリーインターナショナル	中小	④	仕組化をしてゆかないと進みにくい。	C7
12	正会員	(株)東海特装車	中小	⑤	Scope3 の取組等、ご教授いただければ幸いです。	F
13	正会員	東京特殊車体(株)	中小	③	中小規模会社にて取り組む際の具体的な事例を共有していただけると助かります。	A
14	正会員	東プレ(株)	大	⑥	【車工会】CNセミナーに参加させて頂いております。 CNへの取り組みは、今後とも重要性が増してきています。推進する政策支援、法整備、規制緩和等、最新情報をし展開して頂きたいと思っております。	A
15	正会員	東邦車輛(株)	中小	③	他社様の改善事例情報の共有や実際の現場を拝見することで自社にも取入れられるアイデアが生まれてくるのではないのでしょうか？ 今年度の車工会主催の講演会についてCN活動の参考となる内容もあったため動画があれば公開していただきたい。①7/20国交省（審り課小磯課長）による講演会、②10/19いすゞ自動車（若村部長）による講演会	A E
16	正会員	トヨタ車体(株)	大	③	材料、部品、副資材等について、納入されるまでに発生するCO2を把握するノウハウや基準・標準について情報提供	F
17	正会員	(株)トランテックス	大	⑥	自工会と連携しICEとZEVの切替計画と内容整理の上、各会員へ展開して欲しい。	E
18	正会員	日本トレス(株)	大	③	活動内容が余り知られていない様に感じるので、もっと発信して欲しい	A
19	正会員	フェニックス工業(株)	中小	⑥	返信が遅れ申し訳ございませんでした。今後も勉強させていただこうと思っております。	D
20	正会員	(株)メイダイ	中小	⑥	いつも情報の提供ありがとうございます。いつも迅速な対応を頂き感謝しております。	D
21	正会員	(株)モリタ	大	③	『CN、CO2削減に向け、他社事例等で有効な手段があればご教示願いたい。』	A

22	正会員	(株)山川自動車	中小	⑥	CNに関するセミナー（特に中小企業が取り組みやすい内容）を増やして欲しい	E
23	正会員	山田車体工業(株)	中小	⑥	CN勉強会開催有難うございます。理解者を広げるためにも、引き続き勉強会の継続と充実を希望します。	D
24	準会員	A G C (株)	大	④	大変失礼ながら、本件、弊社は他の会員企業殿とは全く違う次元・規模のレベルで取り組んでおります。よって、弊社は独自に取り組むことで、先にご了承をいただいておりますようお願いいたします。	D
25	準会員	共和ライフテクノ(株)	中小	⑥	アンケートに十分な回答ができず、申し訳ございません。	D
26	準会員	澤藤電機(株)	大	⑥	中小企業に対して、脱炭素の必要性、補助金を活用した省エネの実施等を呼び掛けて欲しい。	E
27	準会員	三輪精機(株)	中小	⑤	Scope3の具体的活動について他社の事例等を参考にしたい。	F
28	準会員	伸工貿易(株)	中小	⑥	情報有難うございます。	D
29	準会員	日本特殊塗料(株)	大	③	上記の困り事・課題が解決できるような情報を頂きたく存じます。	A
30	準会員	日本ピストンリング(株)	大	⑥	他社事例の共有、自工会、部品工業会など他の協力会と足並みを揃えた活動（例：帳票の統一等）	E
31	準会員	日本ボデーパーツ工業(株)	中小	⑥	引き続き情報提供をお願いいたします	D
32	準会員	パーソルクロステクノロジー(株)	大	④	CNに関する勉強会、講演会の情報提供に感謝いたします。 しかしながら、弊社は、設計・開発・実験における請負・派遣サービスを事業としており、自社の製品、及び製造はございません。そのため、製造業のCNに関するアンケートの協力は難しい状況にあります。 大変申し訳ございませんが、ご了承いただけますでしょうか。	B

<アンケート結果まとめ>

- ・CN推進上の**課題を整理** ⇒ 取組み**重点との整合確認**
⇒ 24年度**事業計画の着実な推進**により、**CN実現**を図りたい

課題整理	24年度取組み重点との整合
・CN理解度は向上、 未着手会員 対応が課題	③未着手会員始動
・シャシ電動化やCN製品設計二極化 Scope3は活動実施が2割 ⇒ 事例共有	②活動強化
・車工会HPの CN専用ページ活用16%	①再啓発
・困りごと： 人材不足、費用対効果 (資金・価格転嫁)	②活動強化 ④一体活動
・要望： 事例 (中小 or 先進)、 勉強会、Scope3	⑤LCA

<CN専門委員会 2024年度事業計画>

8/24

カテゴリ	実施事項	24年度重点	担当	2024年									2025年		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	<ul style="list-style-type: none"> ・CN理解促進の仕掛け先導 ・各委員会・部会・支部の活動内容確認と情報共有 	①再啓発 ②活動強化	CN			●17					●集約	●集約			●集約
他団体連携	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車5団体 ・経団連モビリティ委員会、CJPT等 	②活動強化	CN	情報収集、連携											
現状把握	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、困りごとへの対応 ・未着手会員への対応 	②活動強化 ③未着手会員	中央業務 部会 支部	23年度アンケート分析 未着手会員方策検討			方策実行			24年度アンケート検討			24年度アンケート実施		
理解活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事例収集 マニュアル展開 部会(支部)での共有 ・CNページ閲覧頻度向上施策 事例展開 ・勉強会 	①再啓発 ②活動強化	環境	【事例WG】マニュアル作成	依頼▼	収集	精査・修正	HP掲載・関係WG展開							
			広報	部会(支部)での共有方法検討	共有	展開									
			CN	検討・論議	事例収集	まとめ	修正								
計画支援	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量調査 排出量増減分析 ・Scope3 ・商用車電動化対応 	②活動強化 ⑤LCA	環境	【分析WG】分析内容検討・確認	▼依頼	調査	▼自工会提出	集約、フィードバック							
			中央技術	Scope3把握会員の絞り込みと進め方検討	分析	層別	仕分け情報共有	次年度修正							
			環境	電動化、コネクティドに関する技術課題への対応 (CJPT、自工会との連携と情報展開)	先行会員の勉強会実施と横展										
実行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・困りごとの確認と現地支援 -部会(支部)との一体活動 	②活動強化 ④一体活動	環境 部会 支部	【支援WG】困りごと絞り込み	確認・選定	支援									
				部会・支部への働きかけ											

分担	2024年度活動	KPI
CN	自動車5団体活動との連携	自工会・部工会情報交換 年2回
中央業務	2024年度アンケート	回収率 100% (含：辞退)
環境	【事例WG】マニュアル展開	好事例PKG展開1件
広報	分かり易い事例	事例紹介3件
CN	CNセミナー・講演会	1件以上
	CN勉強動画の作成と会員への展開	動画作成・展開
環境	全会員のCO2排出量の把握	年1%削減（小型部会2%）
	経団連CO2排出量FU	売上高カバー率95%以上
	【分析WG】CO2排出量増減分析	対象39社 分析
	LCA先行会員の公募と学びの場作り	場づくり1件以上
	【支援WG】困りごとの確認と 現地支援 -部会(支部)との 一体活動	支援 4件 以上 部会巻き込み 4件 以上

<CN専門委員会からのお願い事項 ③未着手会員の始動>

- ・ 調査(CO2排出量・アンケート)回収率向上による未着手会員始動へのご協力をお願いします

	担当	2024年						25年			
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
CO2排出量調査	環境委員会	▼展開	回収	集約	集計		加算・修正				
	部会	事務局		フオ-1	フオ-2	フオ-3		フオ-4			
		部会		提示呼び掛け			第2回環境・中央業務委員会	(未回答会員ある場合)	第3回環境・中央業務委員会		第4回環境・中央業務委員会
2024年度アンケート調査	中央業務委員会	2023アンケート結果フオ-個別対応	未着手会員対応					展開	回収	集約	
	部会	事務局							フオ-1	フオ-2	フオ-3
		部会								提示呼び掛け	

質疑

2.本部委員会 - 広報委員会

2. 本部委員会 <広報委員会 CNホームページ閲覧回数アップ方策>

<目に触れる頻度向上>

・トップ画面からスクロールせずにCNページにアクセスできるデザインの追加

①グローバルメニューに「カーボンニュートラル」を追加

②トップ画面の4つの画面全てにCNページに遷移するバナーの追加（バナーデザインは別途検討）



<CNホームページ閲覧回数アップ方策（案）>

【情報配信頻度向上】

- ・追加、変更時メールおよび「新着情報」によるアナウンス

メール配信先

- ・当会窓口登録者
 - ・各部会事務局経由で部会メンバー
- cc配信：広報委員会メンバー

- ・環境対応事例発表会（10/18予定）でHP紹介を発表（委員から発表）

- ・事務局員配信メール署名欄にCNページの案内追加（以下を実施済）

=====

一般社団法人日本自動車車体工業会
 事業統括部長 小森 啓行
 〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30
 日本自動車会館15階

Tel:03-3578-1681 FAX:03-3578-1684

E-mail: komori@jabia.or.jp

HP : <https://www.jabia.or.jp/>

※会員専用ホームページに「カーボンニュートラル会員限定情報」を掲載しています
是非ご覧ください

<https://www.jabia.or.jp/cn/>

ID、パスワードが不明な場合は以下からお問い合わせ下さい。

<https://www.jabia.or.jp/contact/>

=====



新着情報

NEWS

官公庁のお知らせ	2024.05.23 エイジフレンドリー補助金のご案内
当会からのお知らせ	2024.05.20 2024年度通常総会資料の事前送付

もっと見る

3. 部会

- 4部会 + トレーラで活動着手

	活動状況
特装	<ul style="list-style-type: none"> ・CN分科会を立上げ 座長：小田部会長 <ul style="list-style-type: none"> -メンバー：新明和工業(株)、極東開発工業(株)、カヤバ(株)、(株)加藤製作所 -先進事例共有と未着手会員へのフォローを中心に活動
特種	<ul style="list-style-type: none"> ・部会での事例共有
トラック	
バン	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委員会主導での推進 ・第2回業務委員会(8月)以降、各社CN担当者を招き勉強会実施
トレーラ	<ul style="list-style-type: none"> ・CN主眼の工場見学会実施済（ブリヂストン&ジェイ・バス 5月28・29日）

3.部会 <特装部会CN WGの進め方>

【目標】部会員全員がCNに向けた何かしらの活動（CO2排出量／アンケートを提出）を行っている状態を作る

			2024年									2025年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			●23 特装部会総会		★18 第1回WG 集約展開	● 2023年度CO2排出量 集約期間			● 2024年度アンケート 集約展開 集約期間					
				●WGメンバー募集		集約期間			集約期間					
項目	内容	具体的活動												
現状把握	CO2排出量未回答会員のゼロ化	排出量算出手引き書の作成												
	アンケート未回答会員のゼロ化	計算フォーム、手引き書の展開												
		排出量算出の実行（各社）												
		未提出会員へのヒヤリング 相談会・説明会の開催（要検討）												
事例情報の展開	事例の提示	車工会HP掲載情報の周知												
		会員企業での事例情報収集と展開												
		事例の難易度表作成と提示												
		助成金、補助金活用の情報周知												
			オレンジ色はWGの活動、緑色は会員の活動を示す。											

計算フォームに必要事項を入力するだけで
CO2排出量を算出できるので、工数は掛からない、
専属担当者は要らない、ことを手引書を使用して周知していく。

3.部会 <2024年度バン部会CN活動概要>

・目指す姿：部会会員が**2025年度には各社目標を設定し、活動**している

対応：①**業務委員会での車工会HP、具体的な削減事例の共有**

②**業務委員会各社のCN担当者を招き入れ裾野を拡大**



2024年CN勉強会概要



各社の必要削減量把握と数値目標設定、活動実行

3.部会 <トレーラ部会 CN工場見学会>

狙い：CNに積極的に取り組まれているブリヂストン工場を**年度初めに**見学し、良いところ取りをすることで、トレーラ部会会員の**個社活動に活かす**

実施：2024年5月28 & 29日

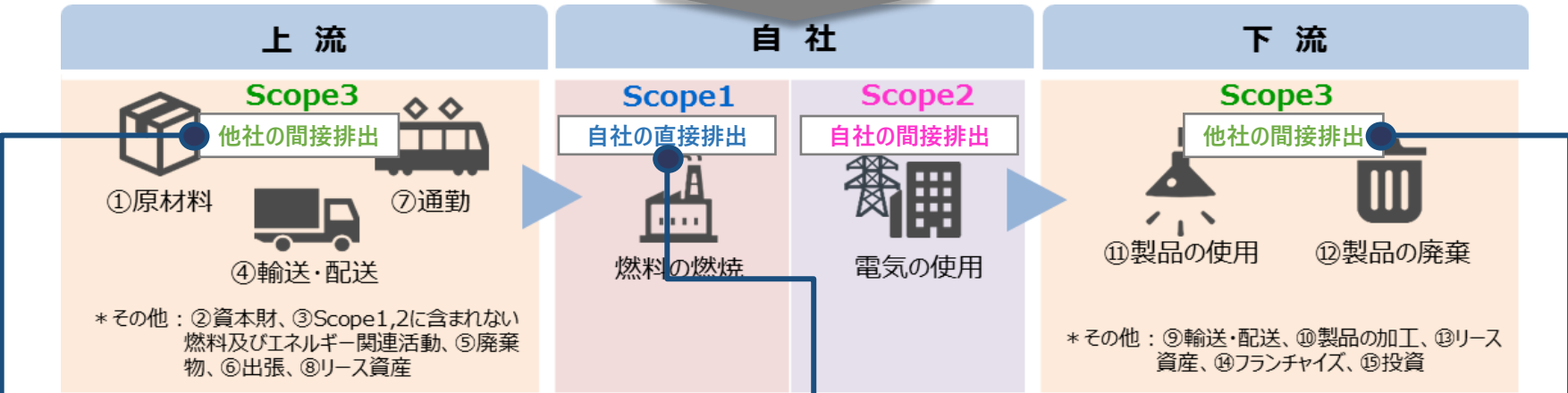
- 1) ブリヂストンBRM(株) 加須工場 リトレッドタイヤ(再利用タイヤ)
- 2) (株)ブリヂストン栃木工場 新品タイヤ
- 3) ジェイ・バス(株)宇都宮工場 路線バス

<リトレッド導入による輸送事業者様における環境貢献効果>

引用元：環境省

前提となる考え方 「サプライチェーンCO2排出量削減」

✓ サプライチェーン排出量削減 = **自社の直接排出** + **自社の間接排出** + **他社の間接排出**の削減を図るもの
 ⇒事業者自らの排出削減量だけでなく、**事業活動に関係するあらゆる排出削減量を合計したCO2排出量削減が必要**
 ※原材料調達・製造・物流・販売・廃棄等、一連の流れ全体から発生する温室効果ガス排出量削減のこと



リトレッドタイヤ活用頂くことで、輸送事業者の様のCO2排出量削減,資源生産性に貢献が可能です。

<ブリヂストンのリトレッドタイヤサービス>



新品タイヤ同様に
幅広い
ラインアップを
保有!

リトレッドタイヤは第一次寿命が
終了したタイヤに新しいトレッドゴムを
貼り付け、再利用したタイヤです。

経費削減 **トータルコストメリットの創出**

環境対応 **台タイヤの再利用による環境への貢献**

トータルコストメリットを創出

リトレッドによりタイヤケースの
ライフを「十分に活用する」ことで、
コストの大幅削減を実現します。

※グラフは価格差のイメージです。

リトレッド装着

資源の有効利用

資源の量
68%
の節約

新品タイヤ 100%
リトレッド
タイヤ 32%

※使用する資源量と価格は必ずしも比例するものではありません。
※資料: 更生タイヤ全国協議会

温室効果ガス排出量削減

原材料調達、生産、流通、廃棄の過程で温室効果ガスを削減します。

1 1サイクル目: 新品タイヤ▶廃棄 (新品タイヤ製造2回+廃棄2回で排出される量) → 100とすると

2 2サイクル目: 新品タイヤ▶自社台方式▶リトレッドタイヤ▶廃棄 (新品タイヤ製造1回+タイヤリトレッド+廃棄1回で排出される量) → 65

35%
の削減

※日本自動車タイヤ協会編「タイヤのLCCO2 算定ガイドライン Ver.2.0」をもとに、
トラックバス用タイヤ(275/80R22.5)にて試算した数値となります。

リトレッドタイヤは製造/廃棄段階で原材料/CO2削減に貢献いたします

部会長コメント

4.支部

4.支部 <CN活動まとめ>

		北海道	東北	新潟	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
23年度 実績	本部情報 展開		○	○	○	○	○	○		○
	勉強会			○ 24/3/8		○ 23/7/21 24/3/7	○ 24/1/31			○ 24/3/12
24年度 計画	本部情報 展開	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	勉強会	○ 24/4/24	○ 8-9月	○ 24/4/19	○ 9月	○ 11月以降	○ 下期	○	○ 24/6/14	○

以上